
 地方独立行政法人青森県産業技術センター 内水面研究所 内水面研究所だより	第29号 令和3年3月23日発行 〒034-0041 青森県十和田市大字相坂字白上 344-10 TEL 0176-23-2405 FAX 0176-22-8041 e-mail: sui.naisui@aomori-itc.or.jp HP: https://www.aomori-itc.or.jp/ sashiki / sui.naisuimen /
	

新しいふ化棟の建設が進んでいます

内水研のふ化室は昭和44年（1969年）に建てられたものでしたが、およそ50年ぶりに建て替えることになり、急ピッチで建設工事が進められています。工事は既に終盤になり、外観はほぼできあがり、今後内装工事を進めて3月末には完成の予定です。



建設中の新ふ化棟

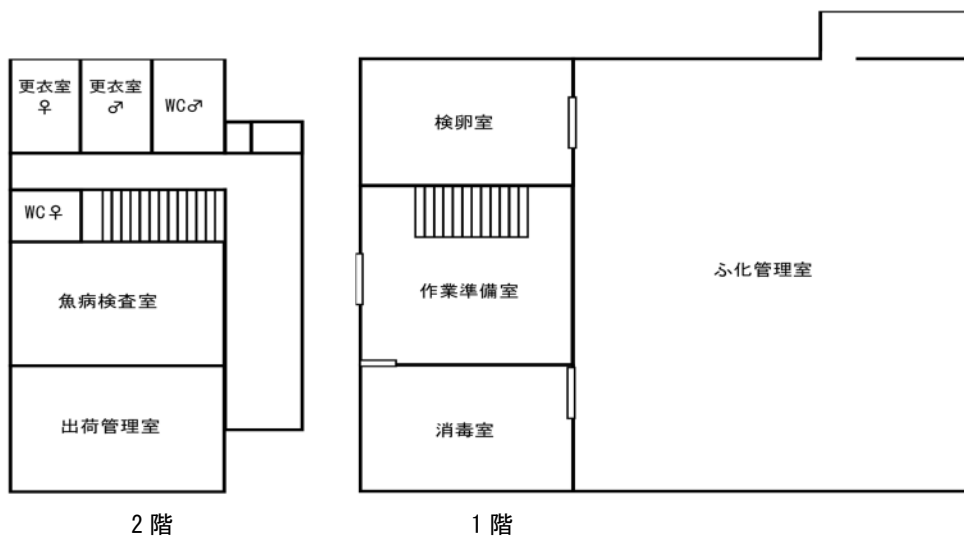
今度のふ化棟（ふ化室から呼び方を変えることになりました）は、一部2階建となっており、1階には、ふ化室とふ化室に入るための消毒室、ふ化室に隣接する検卵室があります。また、2階には、魚病検査室などがあります。

ふ化室には、多品種の生産に対応できるように、増収型アトキンスふ化槽（1間槽）×8台、稚魚水槽として360水槽58台、1500水槽15台、2700水槽10台など多くの小割水槽が設置されます。

ふ化室の飼育用水には、水温が約12℃の湧水を使っていますが、さらに低い水温を必要とするヒメマスやイワナなどの卵管理などのために水温調整用の小型冷却機を2基備えています。また、全雌三倍体魚の生産に必要な偽雄を作るためのホルモン処理後の排泄物を回収するためのドラムフィルターを設置し、環境にも配慮しています。

検卵室の検卵用水槽では、検卵時に卵の下から光を当てることで発眼卵の良否判別を容易にするために、検卵水槽の底面を透明板とするなど新しいアイデアが詰まっています。

新しいふ化棟の本格稼働は、令和3年度の初夏から始まるニジマス早期卵の生産からとなります。これら最新設備の下で、安全、安心で優良な種苗の供給を進めていきますので、ご期待ください。



新しいふ化棟の平面図

『青い森^{くれない} 紅^{くれない} サーモン』が商標登録されました

令和2年11月6日にデビューした「青い森^{くれない} 紅^{くれない} サーモン」の名称が令和3年2月15日に商標登録されました。

「青い森 紅サーモン」は、県内のスーパーマーケット、道の駅、飲食店などで販売され、今年度予定していた約5トンを好評のうちに販売することができました。生産量が少ないため購入できなかった方もおられたとのことで、生産者と連携して生産量を増やすよう努力しております。全県のスーパーマーケットなどでの次期販売は、令和3年秋を予定しています。どうぞご期待ください。



内水研にドローンがやってきた

今年度新たにドローン PHANTOM 4-PRO を導入しました。これまで内水面では、カワウの追払いや、カワウねぐらとなる樹木へ追払いのためのビニールテープ架け、巢内の卵発生を止める（殺す）ためのドライアイス投入などのカワウ対策にドローンを活用しています。今回導入したドローンは、前述のカワウ対策に使っていく予定ですが、カワウ対策の他にも空撮機能を使った藻場調査や溪流の上空からの産卵床調査などにも活用できるのではないかと考えています。各内水面漁協で行う調査や活動の中で、ドローンの空撮などが活躍しそうな場合があればぜひご相談ください。ドローンと未熟操縦者が出動いたします。



導入したドローン



ドローンの初飛行

「天然・野生の溪流魚を増やす漁場管理」が発行されました

水産庁から「放流だけに頼らない！ 天然・野生の溪流魚（イワナやヤマメ・アマゴ）を増やす漁場管理」という小冊子が公開されました。

この小冊子は、平成30年度から（国研）水産研究・教育機構が中心となり多くの県の水試や漁協が協力し完成したものです。内容は組合を持続的に運営するための漁場管理の具体的な方法について、実例を踏まえて解説しており非常にわかりやすく、今後の漁協の取り組みを考えるうえで非常に参考になるものです。

水産庁のホームページの「政策について」→「内水面に関する情報」→「各種パンフレット等」の下に掲載されています。ぜひ参考にしてください。また、下記 URL でも検索できます。

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/enoki/attach/pdf/naisuimeninfo-31.pdf>



青森県立青森高校の生徒が職場見学に訪れました

12月22日に、青森県立青森高校2年生16名が職場見学のために内水研を訪れました。見学では、青森県産業技術センターや内水面研究所の業務を説明し、養殖技術部では「青い森 紅サーモン」の解説やニジマスの採卵体験、調査研究部ではサケの年齢査定や調査手法など実際に体験してもらいました。

今回の職場見学を通して青森県の水産業に興味を持ってもらい、将来の仕事の選択肢のひとつになれば幸いです。



サケの鱗による年齢査定の説明



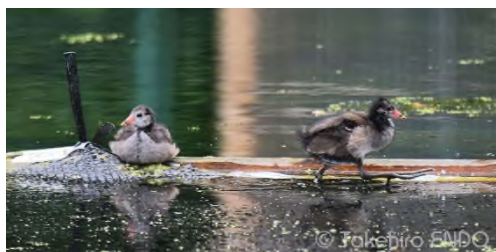
職場見学のようす

内水研「白上の自然」1（野鳥 その①）

内水面研究所は、十和田市相坂^{しらうえ}白上にあります。十和田市中心部に近いところがありますが、白上の湧水や池、林、野草など多くの自然が残り、1年を通していろいろな生き物を見ることができます。今後「白上の自然」のコーナーで四季折々の生き物を紹介していきます。



オオバン： 1羽が5年以上前から内水研の池に住み着いています。普段は水面に浮かんでいることが多いので気づきにくいですが、立ち上がると意外に長くたくましい脚の持ち主です。毎日池にいるので来所の際は探してみてください。



バン： オオバンより一回り小さく、赤いくちばしの特徴です。内水研では春から秋ごろに見られます。昨年はずがいが1組が繁殖に成功し、5羽の雛が誕生しました。写真は7月頃の雛の様子です。



オオハクチョウ： 今年に入って間もなく、突如7羽のオオハクチョウが飛来しました。近年内水研にやってくることはほとんどなく、わずか数日の滞在でしたが、小さな池に大きな鳥が浮かぶ姿は圧巻でした。（遠藤）

令和2年度の主な行事

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くの会議はリモート（web）、メールを使った書面決議で開催され、中止になったイベントも多数ありました。

月 日	曜日	会 議 名	開催場所
4月23日	木	水産多面的機能破棄対策協議会 総会	青森市
6月4日	木	カワウ調査事業に係る調査手法研修会	鯺ヶ沢町
6月9日	火	十和田市藤坂小学校学習会	十和田市
6月22日（月）～7月3日（金）		資源回復のための種苗育成・放流手法検討会議（国）	メール会議
7月1日	水	老部川サクラマス稚魚放流式	東通村
7月15日	水	青森県内水面漁場管理委員会第7回協議会	青森市
7月17日	金	青森県養鱒協会総会	十和田市
7月27日	月	第1回「青い森紅サーモン」生産・販売対策協議会	十和田市
7月29日	水	青森県鮭鱒増殖協会総会	青森市
8月7日	金	八戸工業大学 インターンシップ派遣学生受入れ	十和田市
8月21日	金	令和2年度サクラマス増殖事業・調査説明会	青森市
8月21日	金	令和2年度サケ増殖事業・調査説明会	青森市
8月31日	月	令和2年度さけ・ます放流耐性緊急転換事業 第1回青森地域放流耐性検討協議会	青森市
8月31日	月	令和2年度青森県ふ化放流技術者講習会	青森市
9月23日	水	令和2年度さけ生産計画及び海産親魚供給に係る現地協議会 （三八地区）	三沢市
10月12日	月	奥入瀬・百石サケマス増殖対策協議会	おいらせ町
10月12日	月	第2回「青い森紅サーモン」生産・販売対策協議会	青森市
10月23日	金	令和3年度以降のサケ稚魚生産計画の見直しに係る検討会	八戸市
10月27日	火	令和3年度以降のサケ稚魚生産計画の見直しに係る検討会	鯺ヶ沢
10月28日	水	令和3年度以降のサケ稚魚生産計画の見直しに係る検討会	むつ市
10月30日	金	令和2年度全国湖沼河川養殖研究会 総会	メール会議
10月26日（月）～12月2日（水）		東北・北海道魚類防疫地域合同検討会	メール会議
11月5日（木）～11月11日（水）		令和2年度さけます関係研究推進会議（国）	メール会議
11月6日	金	紅サーモンデビューセレモニー	青森市
11月6日	金	十和田湖環境保全会議	秋田県
11月7日	土	紅サーモン販売開始	全県
11月13日	金	第20期第12回内水面漁場管理委員会	青森市
11月20日	金	三八地区のサケ海産親魚の供給に係る現地説明会	八戸市
11月25日	水	西北地区のサケ海産親魚の供給に係る現地検討会	鯺ヶ沢町
11月26日（木）～11月27日（金）		東北カワウ対策勉強会 東北カワウ広域協議会	web会議
11月30日	月	第20期第13回青森県内水面漁場管理委員会	青森市
12月1日（火）～12月24日（木）		内水面関係研究開発推進会議（国）	メール会議
12月8日	火	サケ定置漁業船主・船頭緊急会議	八戸市
12月15日	火	第21期第1回青森県内水面漁場管理委員会	青森市
12月22日	火	青森県立青森高校 SSH体験研修	十和田市

令和2年度の主な行事（続き）

月 日	曜日	会 議 名	開催場所
1月13日	水	令和2年度第1回内水面漁場管理委員会増殖計画策定部会	青森市
1月27日	水	第62回青森県青年・女性漁業者交流大会	青森市(web)
1月28日	木	青森県水産試験研究成果報告会	青森市
1月28日	木	令和2年度「攻めの農林水産業」推進大会	青森市
1月29日	金	第21期第1回青森県内水面漁場管理委員会協議会	青森市
2月9日	火	やるぞ内水面漁業活性化事業成果報告会	web会議
2月19日	金	令和2年度さけ・ます放流耐性緊急転換事業に係る 第2回青森地域放流体制検討協議会	青森市
2月24日	水	第21期第2回青森県内水面漁場管理委員会	青森市
2月25日	木	深浦町海洋牧場管理運利協議会	深浦町
2月26日	金	第14回小川原湖水環境技術検討委員会	web会議
3月3日(水)～3月17日(水)		十和田湖水質・生態系会議	メール会議
3月5日	金	水産関係試験研究機関長会議(国)	web会議
3月9日	火	弘大と青森産技の研究情報交換会	web会議
3月11日	木	資源回復のための種苗育成・放流手法検討会議(国)	web会議
3月18日	木	都道府県内水面漁業担当者会議(国)	web会議
3月19日	金	第4回小川原湖流域水質改善対策専門家委員会	青森市
3月19日	金	奥入瀬・百石サケマス増殖対策協議会	おいらせ町
3月上旬～中旬		十和田湖資源対策会議	メール会議
3月		青森県カワウ対策協議会	書面開催

水産物の描かれたマンホールの蓋④ 平内町

やはり青森の水産物といえばホタテということで、ホタテを取り上げます。ホタテのデザインの蓋は県内にいくつか見られますが、今回は平内町のマンホールの蓋を紹介します。

平内町でホタテを描いたものは2種類見つかりました。写真左はホタテの他に町の花、木、鳥であるツバキ、マツ、白鳥がデザインされています。右の写真は



平内町のマンホール2種（右は漁業集落配水管）

漁業集落配水管のマンホールに使われているデザインで、漁船3隻の周りをホタテ14枚が取り囲んでいます。流石、ホタテ養殖発祥の地とされる平内町です。ちなみに平内町の農業集落排水の蓋のデザインはツバキとのことです。